

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月11日 更新

事務事業名		重度心身障害者医療費助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 福祉の健康				所属部	健康福祉部	課長名	小畑 英之
	施策	8 障がい者(児)の自立と社会参加の促進				所属課	福祉課	担当者名	鬼塚 彩華
	施策の柱	29 障がい者(児)への総合的な支援及び福祉サービスの充実				所属班	障がい福祉班	(内線)	1158
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 3	事業連番 10529	根拠法令	熊本県重度心身障害者医療費助成事業費補助金交付要領、 合志市重度心	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	重度心身障がい者（身体障害者手帳1・2級、療育手帳A1・A2、精神障害者保健福祉手帳1級所持者）の医療費の負担を軽減するため、医療費の一部（通院の場合1医療機関につき月に1,020円、入院の場合1医療機関につき月に2,040円を超えた分）を助成する。※所得による支給制限あり。重度心身障がい者の医療費の負担を軽減するため、昭和48年度より実施。平成18年施行の障害者自立支援法の影響により、助成対象経費の範囲が拡大した。また平成20年度から、はり、きゅう、あんま、マッサージ、柔道整復等の施術費も助成対象経費となった。
【業務の流れ】	①受給資格者認定申請受付（新規手帳交付者等）→受給資格の審査、決定→受給資格者証の交付 ②毎年8月に受給資格の見直し（所得状況の確認） ③医療費の助成申請受付→審査→助成金の支給（原則診療月の3ヶ月後の25日）
【主な予算費目】	報酬、役務費、扶助費
【意見や要望】	重度心身障がい者世帯の経済的支援策として有用なものとなっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO) 重度心身障がい者の経済的負担を軽減するため、医療費の一部を助成した。		5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 重度心身障がい者の経済的負担を軽減するため、医療費の一部を助成する。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 助成金額	千円	受給者1人あたりの重度心身障がい者医療費助成額の増加による扶助費の増	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
→ ア 重度心身障がい者の医療費の受給資格者		→ ア 受給資格者数	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
→ ア 重度心身障がい者の医療費の一部を助成することにより経済的負担の軽減を図る。		→ ア 延べ助成人数	人
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
重度心身障がい者の経済的負担の軽減を目的とした事業であり、延べ助成人数を指標とした。			全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度 実績(決算)	3年度 実績(決算)	4年度 目標(当初予算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	6年度 予定	7年度 見込	8年度 見込
① 活動指標	ア	千円	83,029	85,045	84,000	85,212	88,000	88,100	88,200	88,300
	イ									
② 対象指標	ア	人	1,099	1,093	1,100	1,054	1,105	1,110	1,115	1,120
	イ									
③ 成果指標	ア	人	12,730	12,750	13,000	13,115	13,050	13,100	13,150	13,200
	イ									
投資	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	43,338	40,809	42,000	43,790	44,000	44,050	44,150
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	41,332	46,012	43,800	43,661	45,921	45,837	45,937
入費	量	(A) 事業費計	千円	84,670	86,821	85,800	87,451	89,921	89,887	90,087
		(A)のうち指定経費	千円	83,028	85,046	84,000	85,213	88,000	89,758	89,958
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	5	5	3	6	6	6	6
人件費	量	正規職員従事人数	人	5	5	3	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	1,015	1,045	520	1,135	1,100	1,100	1,100
トータルコスト(A)+(B)	量	(B)人件費計	千円	4,002	4,085	2,071	4,319	4,382	4,382	4,382
			千円	88,672	90,906	87,871	91,770	94,303	94,269	94,469

事務事業名	重度心身障害者医療費助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部（CHECK）

\*原則は 4年度の後評価、ただし複数年度事業は 4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 受給者の死亡により受給者数が減少したため。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 受給資格者（障がい者手帳所持者）、申請件数が増加傾向にあるため
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 有資格者に対する制度周知等は行なっており、現状において向上余地はない
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はないため統合できない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 県の補助事業であるため削減余地はない
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 非常勤職員により電算入力処理を行っており、これ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 受給資格に所得要件を設けているため公平である
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 重度の障がいがある方の経済的負担を軽減する事業であり、市が実施することは適正である。

## 3 評価結果の総括（CHECK）

重度心身障がいの者の医療費の一部を助成することで経済的負担の軽減をはかることを目的とした事業であり、助成件数が増加している。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

<div>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</div> <div><input type="checkbox"/>廃止    <input type="checkbox"/>休止    <input type="checkbox"/>目的再設定    <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携    <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善）</div> <div><input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善）            <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善）</div> <div><input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</div>		<div>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</div> <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
<div>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</div>																							